

研究テーマ ● 様々な組織で役立つ会計学教育

法文学部・法経社会学科・経済コース

教授 北村 浩一

<http://ecowww.leh.kagoshima-u.ac.jp/staff/kitamura/kitamura-z.html>

研究の背景および目的

会計は企業や公共団体だけでなく家庭やサークルに至るまで、世の中にある様々な組織で必要かつ重要なスキルです。一方で、会計教育となると商業高校および大学で専門的分野を提供する教育機関に所属することでしか受けられないのが実情です。トップから従業員まで、会計の基本的考え方と様々な職種や立場での利用法を身に付けることができると、組織の可能性が広がります。幅広い分野で必要とされる、会計教育の機会を提供することを目的としています。

■ おもな研究内容

1) 会計の基本的考え方

身近にあり、様々な組織で必要とされる「会計」。その基本的考え方、なぜそのスキルが必要とされているかについてわかりやすく教示することをテーマにしています。

2) 企業会計の基本的考え方

「会計学」で最もスタンダードな例として「企業会計」を取り上げ、その中心的2分野、財務会計および管理会計の基本的考え方についてわかりやすく教示することをテーマにしています。

3) 組織に応じて必要とされる会計とは

企業会計で対象にしている企業は営利企業のことですが、実際の社会で「会計」スキルは、営利企業のみならず、家庭から公共団体にいたるまで、2人以上の人が集まれば任意の集団でも、ときには実践として必要とされるスキルです。このようにそれぞれが所属する組織でどんな会計スキルが必要とされ、それがどのように役立つのかについてわかりやすく教示することをテーマにしています。

4) 会計の目的に応じた利用＝管理会計

企業会計分野の中には、会計を用いて組織の目的達成に役立つ管理会計分野というものがあります。この考え方の基本を身につけることにより、様々な組織で会計を利用することでその目的の達成に役立つことが出来ます。このように、会計を組織の目的達成に役立つという考え方について研究を行っています。

期待される効果・応用分野

例えば商品ごとの利益率を知ることで、営業マンの考え方や行動が変わります。会計の基本的な考え方を学ぶことは、仕事に対する意識改革や組織の活性化につながる可能性があります。

会計学および企業会計、そして管理会計学の基本的な考え方と、必要とする組織における応用を各人が身につけることができれば、組織を成長させる大きな力となります。そうした機会を広く提供することが会計教育に携わる者の責務と考えながら、会計教育に取り組んでいきます。

■ 共同研究・特許などアピールポイント

● 会計スキルが必要であるにも拘わらずその機会を得られない方のために役立てればという想いで研究を進めています。金銭を扱う限り（ほとんどですが）どんな組織にも会計スキルは必要。その基本を多くの方に身につけてもらいたい思いです。

🗨️ コーディネーターから一言

会計学の基本的考え方を伝えることで企業や地域の活性化につながる、会計教育に取り組んでいます。市民講座から企業研修まで組織や目的に合わせた講義内容がアレンジできます。お問合せ・ご相談をお待ちしています。

研究分野	企業会計論、管理会計論、企業予算論
キーワード	会計、会計学、会計教育、企業会計、管理会計、予算管理